

仙台市安全安心街づくり基本計画(中間案)
に関する市民意見募集(パブリックコメント)の実施結果について

1 実施概要

- (1) 実施期間 令和7年11月25日(火)～12月24日(水) ※12月2日(火)に市民説明会を開催
- (2) 意見受付方法 郵送、Eメールまたは市ホームページから電子申請
- (3) 周知方法及び配布場所
市政だより12月号及び市ホームページに掲載
概要版及び本編の配布(市政情報センター、各区役所・総合支所、市民センター等)

2 意見募集結果

- (1) 提出者数 6(個人6、団体0)
- (2) 意見件数 17件

3 意見の概要と本市の考え方

意見分野別	件数
第2章 本市における安全安心の現状と課題に関するご意見	10件
第3章 基本理念と計画目標に関するご意見	3件
その他ご意見	4件
合計	17件

第2章 本市における安全安心の現状と課題に関するご意見(10件)

項番	ご意見の概要	本市の考え方
1	「特殊詐欺被害件数、被害金額は増加傾向で、令和6年の被害総額は9億7千万円を超える。」とある。特殊詐欺については、市内の犯罪の傾向などをつかみ、高齢者が被害にあわないよう、取組を強くお願いしたい。	中間案24ページ「(1) 特殊詐欺等に対する取り組み」を掲げており、引き続き市内の犯罪の傾向を把握して、より効果的な周知啓発の手法を検討し、対策の充実改善を図ってまいります。
2	(p4) 図表1より、ピーク時の平成13年より9万人増加したにも関わらず、令和6年の刑法犯認知件数は4分の1以下に激減していることに驚いた。検挙率の向上やパトロールなどが犯罪抑止にもつながっているのだと思うし、県警や防犯活動団体等による功績だと思う。 しかし、件数が激減しているのにも関わらず、(p14) 市民の意識調査では治安の悪化を感じている割合が増加している。(p5) 犯罪種別を見る限り、不同意性交罪を含む凶悪犯と風俗犯、特殊詐欺などの知能犯の推移が増加傾向にあり、さらに(p6) 特殊詐欺の被害が高齢者以外にも広がっている事も関係していると考ええる。このことから、特殊詐欺と性被害防止を重要課題として対策して欲しい。	特殊詐欺と性犯罪の防止につきましては、本市における安全安心街づくりの課題であると認識しており、課題の解決に向け重点的に取り組んでまいります。
3	(p7) 人口が減少していつているにも関わらず、犯罪認知件数が横ばいまたは上昇しているという事は、現在の犯罪・再犯防止等の施策の効果が弱い事だと考える。厳しい対策が必要。	いただいたご意見は、今後の施策の推進を図る上での参考として、関係部局へ共有いたします。
4	(p9) 歩きタバコを大変危険な行為とし禁止しているのなら、重大事故が起こる前に罰則を設けて厳しく取り締まって欲しい。	いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。

項番	ご意見の概要	本市の考え方
5	客引きについては、近年増加傾向にあるとのことだが、他県大都市の繁華街に比べれば、その数は少なく、また国分町の20～30年前に比べれば、それほど深刻ではないと思う。むしろ、より深刻なのは、東北一の繁華街・歓楽街の国分町でさえ、空き店舗が膨れ上がり、そもそも若者も来ないことが心配。若者の数が減っていくこと、若者の雇用や低賃金などの影響もあろう。こうした問題は客引き対策以前の根本の問題であり、是非とも本気で取り組んでもらい、かつての活況を呈していた国分町になってもらいたい。	いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考として、関係部局へ共有いたします。
6	(p10) 客引き・声かけ行為に類似した件で、道路使用許可をとって演説している団体に対し、過度な妨害行為をしている集団をみかける。そもそも道路使用許可もなく抗議や妨害のために道路を占拠している集団は交通妨害でしかないので、速やかに解散させるべき。道路使用許可の有無を判断基準に厳しく対応して欲しい。	いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考として、関係機関へ共有いたします。
7	仙台市犯罪被害者等支援条例の内容で知っていることはない、と回答する割合が7割弱もいる。被害者に寄り添う支援は大事であり、仙台市では条例を制定し取り組んでいるにもかかわらず、市民によく知られていないのは残念だ。ぜひとも一人でも多くの市民に知られるようお願いしたい。	多くの市民の皆様に知っていただけるよう、より効果的な周知啓発に努めてまいります。
8	仙台市では、令和6年10月から「特殊詐欺電話撃退装置等購入費補助金事業」を実施とある。とても大事でありがたいことと思うが、高齢者にまだまだ知られていないと思う。より多く方に知られるようお願いしたい。	対象となる市民の方に知っていただけるよう、より効果的な周知啓発に努めてまいります。

項番	ご意見の概要	本市の考え方
9	<p>(p15) 市民が地域に不安を感じるものとして「道路・公園の見通しの悪さ」があり、(p18) 安心な街づくりの重要な取り組みとして「街灯を整備し、道路を明るくする」とある。これに関して、道路や公園の緑化について見直すべきと考える。数十年経過した街路樹は、倒木や根っこが張り出して歩道を劣化させたりなどしている。景観を重視したところでは広葉樹を維持し、それ以外の公園や道路は街路樹を市民も簡単に管理できる低木や常緑樹に変えていくべきと考える。広葉樹の落ち葉は近隣住民が掃除しているが、大きな負担になっているうえ、落ち葉が歩道を埋めてしまう事は転倒などの危険もある。また、近年野生動物が都市部に進出しており、どんぐりなどはエサになり呼び寄せる原因にもなる。街の緑化の維持のコストを減らせるよう見直し、その分を動物対策として山の整備などにまわしていけるようにして欲しい。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の施策の推進を図るうえでの参考として関係部局へ共有いたします。</p>
10	<p>(p15)「道路・公園の見通しの悪さ」の改善のため、交通量の多い場所や児童の通学路等に重点的にカーブミラーと街灯を設置して欲しい。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の施策の推進を図るうえでの参考として関係部局へ共有いたします。</p>

第3章 基本理念と計画目標に関するご意見(3件)

項番	ご意見の概要	本市の考え方
11	<p>(p26) 基本目標について、自衛を重点においた啓発活動等も大事だが、自衛にも限界があると考ええる。「街路を整備し、道路を明るくする」など、機能面の対策を推進すべきと考える。また、団体や会で重点的にパトロールする事も大事だが、普段の通勤通学などの一人ひとりの行動が防犯活動になるような仕組みを作る事で防犯意識向上と社会的に犯罪を許さない風潮を構築できればいいと思う。あいあいキンギョパトロールは散歩者等を対象にしているが、通学・通勤者も含めたら範囲も広がるし、みやぎセキュリティメール以外にもマップなどで犯罪発生が多い箇所がわかるような仕組みがあればいいと思う。</p> <p>また、犯罪・暴力を防止する、という姿勢より、根絶するという強い姿勢が必要と考える。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。</p>
12	<p>(p29) 成果目標1のこどもを対象とした特異事案発生件数の減少について、様々な原因が考えられるのはわかるし、10%減という数値は、現実的で達成可能な目標なのかもしれないが、市民としては不安を覚える。減少する見込みが難しい原因等の説明があるとありがたい。</p> <p>(注記) 中間案【本編】p29では、「こどもを対象とした特異事案の発生件数の減少」について、「現状(令和6年)267件→目標(令和12年)240件」と記載していたことへのご意見</p>	<p>中間案【本編】では240件と表記しておりましたが、中間案【概要版】の180件が正しいものでございます。</p> <p>近年の発生件数の推移を踏まえますと、こどもを対象とした特異事案を、計画期間内に大幅に減少させることには困難も伴いますが、こどもの安全安心を守ることは重要であることから、180件まで減少させるよう取り組んでまいります。</p>

項番	ご意見の概要	本市の考え方
13	(p29) 成果目標2について、防犯活動に参加する市民と意欲ある市民の合計は、分けて考えるべき。参加意欲のある市民をいかに参加に向けさせるかが目標設定として適していると考ええる。気軽に防犯活動ができるイベントなど参加ハードルを下げるようなものがいくつかあればいいと思う。	地域の防犯意識を高めるため、防犯活動に参加意欲のある方も含めて、成果目標としております。 なお、防犯活動に参加する市民の数値も別途を把握し、意欲のある方が防犯活動に参加しやすい機会を提供していくよう努めてまいります。

その他ご意見(4件)

項番	ご意見の概要	本市の考え方
14	暗い道が多いので、明かりや警察等の巡回を増やしてほしい。	いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。
15	最近、信号無視が多い気がして危ないと感じている。もっと生活しやすい街にしたい。	いただいたご意見は、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。
16	(計画全体について) 市民の3割が「犯罪が増えている」と感じ、実際に犯罪が増えている理由についての分析はされているのか。令和12年までに犯罪を減らすという目標をたてているようだが、「なぜ増えたのか」を分析し理解し対策しない限り、減らすどころか増える一方であろう。	「匿名・流動型犯罪グループ」による凶悪事件の増加や多様化、巧妙化する特殊詐欺の増加が原因であると分析しております。
17	外国人についての言及が「一切ない」ことにも強烈的な違和感を持つ。政府や県、市の政策により外国人が増えているが、外国籍者による犯罪が起きていることは、連日の報道やデータでも明らかである。安心安全な仙台市を目指す、実現するという目標ならば、外国人対策も肝要ではないのか。 外国人の犯罪率は日本人の1.72倍という事実を、警察庁が先日明らかにしたことは、もちろんご承知のことと思う。迷惑行為の増加についても、日本語を解さない、マナーを守らない外国人の存在が理由の一つではないのか。外国人対策について、具体案を明示すべき。	外国人住民に向けた生活のルールやマナーの周知啓発については、外国人住民のための生活マナーマニュアルを作成、配布する等、取り組んでおります。こうした取り組みについては、最終案に記載いたします。